

【出生】	令和2年度
年間出生数	: 0人
養育医療申請児数	: 0人
低出生体重児数	: 0人

【医療機関】

\*「発達障がい児(者)の診療等を行っている医療機関リスト」(沖縄県発達障害者支援センター)

【乳幼児健康診査】 令和2年度

R2	年間実施回数	精神発達障害有所見率	保健相談要経過観察率	スクリーニング
乳児	4	0.0%	0.0%	医師判断/保健師判断
1歳児	2	0.0%	0.0%	
3歳児	2	0.0%	0.0%	保護者の訴え/会場での観察/課題の実施

【未受診者対策】  
電話：はがきでの再通知/保健師による訪問勧奨

【市町村独自の取り組み】

【子育て支援サービス】

◆子育て支援センター：  
一般型 0ヶ所  
連携型 0ヶ所

気になる子のフォローの場としての利用：  
<その他子育て支援サービス>

【個別発達相談】 令和2年度  
年間回数： 0件/年 延べ 0件/年  
担当職種： 保健師

【親の会等】  
親の会がないことを把握している。

\*「発達障がい者に関する親の会・当事者団体等リスト」(沖縄県発達障害者支援センター)参照

【療育グループ】

グループ名	
対象児(年齢)	
開催日時	
定員	
実施場所	
スタッフ体制	

【健診事後フォロー教室】

グループ名	
対象児(年齢)	
開催日時	
定員	
実施場所	
スタッフ体制	

【移行支援】

【移行支援】

【相談支援事業所】 指定障害児相談支援事業所 0ヶ所

【療育の利用にあたり必要な手続き】  
医師の診断書：求めている(コミュニティが極端に狭いため、常日頃から児童の状態を把握できている)  
診断書以外：特になし

【自治体の実施する取り組みや研修】

児童福祉法による障害児通所支援		それ以外の通所支援			
児童発達支援	医療型児童発達支援	保育所等訪問支援	親子通園	単独通園	その他
0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所

【気になる子がいた場合に紹介できる支援機関】  
あり  
主な機関名：ハートライン沖縄クリニック

【幼児教育・保育施設での独自の取組み】

【療育機関と保育所・園の併行利用】  
①公立 0人 ②認可 0人  
③小規模認可園 0人  
④認定こども園 0人  
⑤認可外 0人 ⑥幼稚園 0人

【移行支援】  
移行の前後から保健師が窓口で相談、連携を行い、支援者が不安とならないように取り組んでいる

【保育所】 ※ ( ) 内は療育機関を併用している児の数

公立	認可	小規模認可	認可外	認定こども園	自治体独自の指定園
1ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所

【障害児保育】  
実施園数： 0ヶ所  
実施人数： 0人

<必要な手続き>  
医師の診断書：求めている(該当施設がない)  
診断書以外：  
【通常保育中の気になる子を把握する仕組み】  
就学までの子ども全員が参加できる育児交流会を月1日開催しており、交流会の中で把握することができる。

【気になる子がいた場合に紹介できる支援・機関】  
ハートライン沖縄クリニック

【施設支援・巡回支援】

<対象施設>

<必要な手続き>

<対応職種>

【自治体の実施する取り組みや研修】

【認可外保育園の気になる子を把握する取り組み】  
該当施設がない。

<認可外保育施設の発達障害に関する研修>

【障害児保育から幼稚園や小学校へ繋げる取り組み】  
幼稚園が3年保育であり、それ以外はない。幼稚園は小中学校内の教室を利用しており、園長と学校長は同じである。そのため、情報を伝える仕組みをあえて作る必要性がない。

【保育園での気になる子を幼稚園や小学校へ繋げる取り組み】  
幼稚園が3年保育であり、それ以外の施設はない。幼稚園は小中学校内の教室を利用しており、園長と学校長は同じである。そのため、情報を伝える仕組みをあえて作る必要性がない。

【就園・就学】

【放課後児童クラブ】 令和2年度

補助金交付対象児童数	: 0ヶ所
障害児受入学童数	: 0ヶ所
「障害児受入推進事業」実施学童数	: 0ヶ所
「障害児受入強化推進事業」実施学童数	: 0ヶ所

保健師の意見書による個別支援(訪問、電話相談等)

